

第4回 AAAL オートアフターマーケット活性化連合

活動報告会レポート

AAAL 情報委員会

伊井 秀彰

【概要】

2010年4月15日(木)に東京都港区にあるメルパルク東京にて“第4回 AAAL オートアフターマーケット活性化連合活動報告会”が開催されました。報告会には、同連合に加盟する各団体の代表をはじめ、事務局、そして各団体に加盟する企業及びマスコミ関係の方が約180名集まりました。また、経済産業省及び国土交通省の方も来賓として出席されました。



<報告会概要>

開催日：平成22年4月15日

会場：メルパルク東京 5F 瑞雲

各団体代表参加者：APARA 副会長 鍵山 幸一郎
 JAAMA 理事長 津屋 和夫
 NAPAC 会長 田中 毅
 JMCA 副理事長 田中 浩二
 JACA 副理事長 棚橋 公三
 JASMA 副会長 藤壺 勇雄
 JFA 理事 溝呂木 義治



スケジュール：

14:00～14:20 各者コメント

APARA 副会長 鍵山幸一郎

経済産業省 製造産業局自動車課 課長補佐 阿部 容久様

国土交通省 自動車交通局技術安全部整備課 課長補佐 小柴 一博様

14:30～15:20 活動報告・方針発表（各委員会：委員長）

コンプライアンス委員会 藤村 勝 (APARA)

商品拡販委員会 木村 義美 (APARA)

イベント委員会 中野 正裕 (NAPAC)

情報委員会 小野田 裕繁 (APARA)

環境委員会 深澤 広司 (NAPAC)

15:25～15:45 質疑応答 (マスコミ関係者)

16:00～17:00 懇親会

【APARA 鍵山副会長 コメント内容】

洗車の日が、2年目を迎え、具体的な成果は、今後、出していけると思います。

現在は、環境、行政、等々さまざまな変化が起っています。その場にならないとやらないというのが人間の習性にありますが、電気自動車などへの対応については、「その場」になって対応するのではなく、今の段階から準備が必要であると考えます。電気自動車の普及に関して、2018年までに50%をEVで普及させるという政府の目標があります。ここで、「もう18年しかない」と捉えるか、「まだ18年あるから大丈夫」と捉えるかで、結果は大きく違います。

AAALでの活動を通し、いろいろな情報を参加企業にお返ししていきたいと考えています。



【経済産業省 製造産業局 自動車課 阿部課長補佐 コメント内容】



今後、EV車やPHV車などの、次世代自動車が増加していく中で、車を選ぶのは消費者であり、その基準の一つに燃費もあるが、ワクワク感、ドキドキ感も重要な要素としてあります。

現在、クルマを取り巻く環境は厳しく、苦戦を強いられています。各メーカーにおいては、環境対応や規制対応に追われ、ワクワク感やドキドキ感を訴求する方向に向けていないのが現状であると思います。その様な状況下で、ワクワク感やドキドキ感を訴求するのはアフターマーケットの出番であると考えます。ここにお集まりの方々のような車好きをフォローするような活動を期待しております。

【国土交通省 自動車交通局 技術安全部 整備課 小柴課長補佐 コメント内容】

国交省では安全、環境、保全をキーワードに運営しております。2009年度は交通事故による死亡者が57年ぶりに5,000人以下となりました。

しかし事故による負傷者は90万人を超える数字となっており、今後もASV（先進安全自動車）の普及、安全アセスメントの実施、指標作りをより推進していきたいと考えています。また、メンテナンスによる維持・保持や、アフターマーケットも推進していきたいと考えています。

外装基準の改定が平成29年4月に延期となりましたが、これは、単純に延期したのではなく、適用に猶予が持たれたと認識いただきたいと思います。ぜひ気を緩めずに、早めの準備を進めてください。なお、この法改正は、ユーザーの保護を目的としているものであり、市場のためであることをご理解いただきたいと思います。



【各委員会の今期の主な活動予定】

<コンプライアンス委員会>

○行政や社会（ユーザー）への提案型の活動および、業界内のコンプライアンスに対する認知等の違いを考慮した活動への取り組みとして、選定した課題を実践

1. 認定書、保証書、取扱説明書等のお客様への配布や説明方法についての活動
2. 製品への適正な告知や記載方法への活動
3. 中古品の安全性や保安基準への適合確認についての活動
4. オイル、フィルター等の告知する交換時期についての活動

<商品拡販委員会>

○今までの活動をもとに、さらなるレベルの向上を目指す
小売店舗にて販売拡大できる内容を企画し、AAALで行うメリットを追求

<イベント委員会>

- イベント委員会当初の活動目的に立ち戻った、ショーにこだわらない各種イベントの模索・提案
- 商品拡販委員会との効果的な住み分けで活動を行う

<情報委員会>

- ホームページの更新
- 委員会定例会議や関連イベント情報の集約及び発信
- マスコミに向けての各社情報発信体制の確立・運用
- 加盟各社社員と、マスコミとのコミュニケーション強化

<環境委員会>

- 環境の観点から、AAAL 所属団体の会員企業様等の取扱商品等に関して、AAAL の HP 上で訴求し、情報発信を通じて、市場の活性化に繋げる仕組み構築の推進
- 外装箱回収等を踏まえ、総合的費用対効果のある外装箱廃止等を目指した循環システム構築の推進

以上